

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

平成30年度「幼稚園教育要領」改定により、環境を通して行なう教育を基本とし、社会との連携及び協働により、資質・能力の向上を図る為「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三点を重視し、教師は幼児期の特性を捉え、教育に対し感謝の気持ちを持ち、のびのびと明るく元気に安心して過ごせる園を目指します。また、豊かな心と健やかな体を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培います。

- 1、四條畷学園の建学の精神「報恩感謝」、教育理念「人をつくる」、教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」を踏まえ、豊かな人間形成の基礎を育みます。
- 2、安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な習慣を身に付けるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養います。
- 3、遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人との触れ合いや協力を通して、基本的な信頼感や心身の調和した発達の基礎を培います。
- 4、子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行ないます。
- 5、保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促します。

2 中期的目標

1、心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎と感謝の心を培います。

- (1) 健康で明るく活発な子どもを育てます。(体の力)
- (2) 自ら考えて行動する子どもを育てます。(学ぶ力)
- (3) 思いやりと優しさのある子どもに育てます。(心の力)

2、基本的な生活習慣の形成と規範意識を高め、社会のマナーを身に付けます。

- (1) 基本的な生活習慣の形成とルールを守ることやマナーを身に付けます。
- (2) 集団生活に必要な態度と行動を身に付けます。

3、安全・安心な教育環境を整え、子どもが自発的な活動としての遊びを通しての総合的な指導を行ない、一体的に積極的で活発な活動を促します。

- (1) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身に付けます。
- (2) 子どもが安心して楽しく生活できる環境を整備し、興味や関心を広げます。
- (3) 自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備します。

4、教育課程を通して積極的に取り組む行動や友達と助け合い協力する態度を身に付けます。

- (1) 運動や戸外の遊びを楽しみ、意欲を高め挑戦しようとする気持ちや技能を養います。
- (2) 読む・書く・数えることに興味や関心を持ち、考える力・表現する力を身に付けます。
- (3) 友達と一緒に喜んで活動に取り組み、努力することや力を合わせることの大切さを学びます。

5、子どもの個性・発達・特性に応じた指導を丁寧に行ないます。

- (1) 子どもの個性の違いを踏まえて一人ひとりに適切な援助を行ないます。
- (2) 子どもの成長や発達、特性の違いを踏まえてその子に応じた支援を行ないます。

6、保護者・地域社会・小学校と連携した円滑な教育活動を実施します。

- (1) 保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てます。
- (2) 地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動（見学会・子育て相談・談話会・園庭開放など）を実施します。
- (3) 幼稚園・保育所・小学校の交流会に参加し、情報の共有や教育課程・保育課程について理解を深め円滑な接続を図ります。

7、教職員の研修を推進し、幼稚園運営体制の充実を図ります。

- (1) 園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図ります。
- (2) 教職員の共通理解と協力体制を築き、教育力の向上と教育内容の充実を図ります。

8、幼稚園入園希望者の保護者ニーズを研究し、受験者数増加につなげます。

- (1) 待機児童の現状を調査し、募集対策を強化します。
- (2) 預かり保育を見直し、実施する期間や内容を検討します。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成29年11月実施分]				学校協議会からの意見 (H30.1.15)
※過去3年間の保護者アンケートの推移				<p>○幼稚園教育要領の五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）に重点を置いている本園に入園し、報恩感謝を建学の精神にして、日々保育活動を行なっていることに対して高評価である。それは、保護者の理解が得られていると捉えることができ、これからも続けていただくことを強く希望する。ただ、幼稚園を取り巻く状況は年々厳しくなっており、この結果に満足しないように、地域の特徴と保護者ニーズを視野に入れながら、改めて真摯な気持ちで保育活動に取り組んでいただきたいと願う。</p> <p>○保護者の思いとして、信頼して子どもを預けていること。また、「四條畷学園大学附属幼稚園に通わせてよかった。」と感じている保護者が多く、それが、高い評価に繋がっていると判断できる。しかし、この評価に満足せずに、さらに信頼感を高めるためにも、これからも、幼稚園の先生方のより一層の努力をお願いしたい。</p> <p>○総合学園のメリットとして設備の充実面では、園児から学生まで利用する設備もある。ただ、一部施設は使用頻度の関係で汚れ・傷みが出てきているので、その都度改善してほしい。園舎は竣工3年を経過しているが、日々の掃除を徹底していること、掃除機・モップでの床拭き、トイレ掃除などこまやかな清掃をしている点は評価できる。これからも清潔で子ども達が安心して過ごせる環境作りをお願いしたい。</p> <p>○マナー教育や躾教育では、その指導の難しさが数字にも表れている。日々の保育の中で、挨拶・マナー・片付けの面は、特別なことではなく、自然と行えるように取り組んでほしいと願う。例として「ありがとう。」ではなく、「ありがとうございました。」と言える指導をこれからもお願いしたい。子ども達が卒園後の学校生活、また、社会に巣立つ状況になった時に、挨拶・マナーの面で高い評価を得られる人間に育つような教育をお願いするとともに、家庭からの協力を進めて行く。</p> <p>○保育内容の面では、保護者が願う目標数値に近い評価ができる。「体の力」の育みに関しては高評価であり、これからも続くことを願う。「心の力」に関しては、備わったかどうかの判断は他の2つよりも難しいと思える。現段階の評価は厳しいが、上級学校に進む段階で発揮されることを願う。「15学ぶ力」の育みに関しては、評価としては厳しい数字なので、思考面の力を身に付ける保育者の技術向上と家庭や保護者の協力を得ながら進めて行ってほしいと願う。</p> <p>○行事の参加は、子ども達を人間的に成長する機会でもあり、積極的な参加を願うが、評価は厳しいものになっている。行事そのものやモチベーションの盛り上げ方を含めて、検討、改善をお願いしたい。</p> <p>○安心して子どもを園に預けること、安心して園で過ごせることは、保護者としては園に命を預けていることになることをこれからも、常に意識して保育活動をお願いしたい。安全面に関しては、防災設備、防犯体制を整えると共に、体質・体調面でも保護者から詳細を聞き対処している。また、園からの連絡体制については、「ミマモルメ」が100%の登録率であり、園からの連絡手段として信頼できる。</p> <p>○「預かり保育」に関しては、厳しい評価になっている。地域社会や家庭状況のニーズに答えるため実施しているが、内容を捉える時に、正課と連動する内容も大切だと捉える。（絵本を読んだらカードやシールをもらえるという正課の保育に準じたご褒美。）自由</p>
質問項目	H27	H28	H29	
1,四條畷学園大学附属幼稚園に入園してよかった	4.64	4.64	4.68	
2,教育の目的や目標が子ども達の育ちに生かされている	4.49	4.47	4.46	
3,先生は相談しやすい	4.49	4.47	4.48	
4,先生は保護者との信頼関係を築く努力をしている	4.4	4.46	4.5	
5,相談などに対して誠実に対応し連携を図っている	4.35	4.43	4.47	
6,子ども達は先生に親しみを持っている	4.63	4.57	4.65	
7,子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっている	4.3	4.24	4.39	
8,幼稚園の環境・施設・設備はよい	4.52	4.61	4.65	
9,環境整備や掃除が行き届き子どもが生活しやすい環境になっている	4.58	4.67	4.7	
10,子ども達はマナーを身につけてきている	4.28	4.27	4.3	
11,集団生活に必要な態度と行動が身につけてきている	4.34	4.33	4.37	
12,挨拶や片付けができてきている	4.18	4.22	4.15	
13,保育内容は充実している	4.37	4.38	4.39	
14,心の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.17	4.17	4.24	
15,学ぶ力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.49	4.45	4.47	
16,体の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.61	4.59	4.65	
17,子ども達の参加する行事に満足している	4.24	4.27	4.25	
18,園に行くことを楽しみにして喜んで行事に参加している	4.47	4.46	4.44	
19,園の行事に保護者や地域の人が参加しやすいように工夫されている	4.01	4.09	4.02	
20,子ども達への安全確保(セキュリティー)に注意が払われている	4.25	4.31	4.28	
21,子どもが安心して生活できる環境設備になっている	4.42	4.52	4.49	
22,幼稚園からの緊急連絡が速やかに伝わるように工夫されている	4.4	3.63	4.49	
23,幼稚園の情報や活動を園便りやホームページなどで分かりやすく伝えている	4.2	4	4.36	
24,預かり保育は利用しやすく安心して預けることができる	3.97	3.92	3.9	
25,課外教室は豊富で選びやすく満足している	3.97	3.97	3.96	

平成 29 年度 自己評価アンケートの推移 (平成 28 年度との比較)

◎評価項目：教育（保育）活動及び幼稚園に対する全体的評価を行なった

◎評価方法：各項目について5段階で評価を行なった（小数点第2位を四捨五入）

α H28 年度に比較して… ↑アップ ↓ダウン →同じ

β 0.3P ダウンの場合は… 赤文字

γ 目標数値 4.0 に満たなかった項目（昨年度 4.0）… **数字**

1 心身の健全な成長

- 1、子ども達は心身共に目標通り成長できていると思う ↑ 0.1P
- 2、温もりのある保育を実践しながら思いやりの気持ちを育てていると思う ↓ 0.1P
- 3、子どもの育ちから四條畷学園大学附属幼稚園に勤務して良かったと思う ↑ 0.1P

2 基本的な習慣とマナー

- 4**、子ども達は全体的にマナーを身に付けてきていると思う ↑ 0.1P
- 5、学年の全体的な生活習慣は身に付いてきていると思う ↑ 0.1P
- 6**、挨拶や整理整頓についての指導ができていると思う ↓ 0.3P
- 7**、食事に関して正しい習慣が身につけてきていると思う ↑ 0.2P
- 8、きまりを知り守ろうとする気持ちや物事の善悪を理解する心が育っていると思う ↑ 0.3P

3 安全・安心な教育環境と子どもの活発な活動

- 9、子ども達への安全確保(セキュリティ)に注意が払われていると思う ↑ 0.3P
- 10、子ども達が安心して生活できる環境になっていると思う ↓ 0.3P
- 11、園からの緊急連絡が速やかに伝わるよう工夫された体制が整っていると思う ↑ 0.4P

4 積極性や協力する態度を養う教育課程

- 12、保育内容は充実していると思う ↑ 0.1P
- 13、子ども達に心の力が目標通り育まれていると思う ↓ 0.1P
- 14、子ども達に学ぶ力が目標通り育まれていると思う ↑ 0.1P
- 15、子ども達に体の力が目標通り育まれていると思う ↓ 0.1P
- 16、園に行くことを楽しみにして喜んで行事にも参加していると思う ↓ 0.1P

5 子どもの個性・特性に応じた指導

- 17、子ども達は先生に親しみ信頼関係はよいと思う →
- 18、個々の成長、発達、特性の違いを踏まえた指導支援ができていると思う ↓ 0.1P
- 19、子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっていると思う →
- 20、課外教室は豊富で選びやすく満足できると思う →

6 保護者・地域と連携した教育活動

- 21、保護者との信頼関係を築く努力をしていると思う ↓ 0.2P
- 22**、保護者から相談を受けることが多いと思う →
- 23、保護者の相談などに対して誠実に対応し連携を図っていると思う ↓ 0.2P

7 教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実

- 24、預かり保育は利用しやすく安心して預けることができると思う ↓ 0.3P
- 25、ねらいや目標に向かって日々研究し努力していると思う ↓ 0.2P
- 26**、自分の目標は現時点で達成に近づいていると思う →
- 27、子どもにあった環境を見つめ意欲が高まるよう取り組んでいると思う ↓ 0.2

保育的な時間ばかりでなく、正課との共通性もあっても良いと思う。
年齢差や正課との兼ね合いもあり、慎重に運ぶことが大切だが、最近
は製作等も指導していただき、よく指導していただいていると評価で
きる。

○「預かり保育」の内容紹介に関しては、迎えに行った時今日は何をしたか
がおおよそ分かるようになってきたが。例として、今週一週間分の
スケジュールを入りに口に掲示するのも、保護者が安心する方法でも
ある。途中で水泳教室プールに行く子どもとずっと星組にいる子ども
と預かりの費用が同じなのはどうか。保護者からみて、星組に
入れやすい環境作りのためにも、より細かい預かり時間と費用の算出
はどうか。

- ・とても親切で丁寧で手厚い対応をしてもらっていることはよくわか
る。その反面、何かあった時に星組の先生の名前と顔が分からないこ
とが良くある。名札をぶら下げておられるが、遠目からは判読でき
ないので、入り口に顔写真とお名前が明記された用紙を貼っていただ
けたら子どもも保護者も助かると思う。現状では、何かあった時には
先生のことを特徴で伝えるしかない。
- ・水泳教室終了後の子どものお迎えを希望しているが、次年度から実施
できそうなので、保護者は喜ぶだろう。学園の配慮を評価したい。
- ・これからは、幼稚園での正課の保育はもちろんのこと、課外教室と預
かり保育の手厚さが評価されるだろうから、すでに実施している点を
しっかりアピールして欲しい。

○募集活動については、2歳児教室ひよこ組の保護者への積極的な活動
が大切である。学園の幼稚園は、保育と同時に子育てを経験されてい
る先生が多く、保護者として安心できるし、独身の先生方にも将来に
向けて、子育てという点において、勉強になる環境が学園幼稚園の強
みだと思える。それを外に訴える機会を検討していただきたい。
・社会情勢の動きを注視して、待機児童の現状を調査し、募集対策の
強化を目指して欲しい。また、幼稚園の保育機能強化として、
より保護者が預けやすいシステムの検討と外に向けて発信をお願い
したい。

○教育内容に関して「ヨコミネ式保育」を取り入れ、そこに賛同して入
園希望される方は多いと思える。しかし、その「ヨコミネ式保育」の
中身は初期の頃よりも変化してきているのも事実である。その点で、
変化の具体的な紹介や目標設定の詳しい紹介があれば、保護者も理解
しやすいのではないかと感じる。保護者と教員の目標設定にズレがあるよ
うにも感じる。それが、例えば、「兄の時はこれができたのに、妹の時は
できないまま進んでいる…」という声が少なくなるのではないだろう
か。

目標設定がより詳しくあれば、家庭での柔軟指導などもやりやすくな
る。保護者の中には運動会はヨコミネ式保育の体操披露の場と捉えて
いるケースも少なくない。

◎ 幼稚園としての教育内容や設備・環境は、総合学園の強みを生かせ
ていると評価している。その反面、近隣の認定子ども園が募集におい
て好調なのに対して、学園の幼稚園でさえも苦戦しているのは残念で
ある。保護者ニーズの視点を調査し、今まで「駅近」のメリットを再
検討すると、預ける日と時間（次年度は預かり保育を強化すると聞い
ている）や送迎の利便性を基礎から検討してみることが大切だろう。
共働き世帯が増える中で、JR 駅、近鉄京阪バス停、自転車・徒歩、
マイカーの送迎だけでは、対応できないだろう。近隣の幼稚園、特に
住道駅駅近の D 幼稚園は、JR や公共のバスは利用されていないの
で、比較は難しいですが、公共の乗り物に乗車させて登園させる保護
者の不安もよく聞きます。園側は、安全面に十分に気を付け、社会的
マナーを身に付けることができるといったことを説明されています
が、保護者の理解の程は疑問に残ります。

3 本年度の取組内容及び自己評価

[学校全体] [教育・研究] [社会貢献]

中期的目標	今年度の重点目標	ねらい及び取組み内容（具体的な取組計画・内容）	評価指標	自己評価
<p>1 心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎と感謝の心を培います。</p>	<p>1、健康で明るく活発な子ども（体の力）の育成</p> <p>2、自ら考えて行動する子ども（学ぶ力）の育成</p> <p>3、思いやりと優しさのある子ども（心の力）の育成</p> <p>4、感謝の気持ちが持てるような環境整備</p>	<p>1、健康で明るく活発な子ども（体の力）の育成</p> <p>I 自由遊び・体操・かけっこなどをおして運動能力を高め、体力を養う。</p> <p>II 友だちの姿から刺激を受けて、自分で考えて自分でやろうとする子持ちを育てる。</p> <p>2、自ら考えて行動する子ども（学ぶ力）の育成</p> <p>I 時間の経過に応じて行動できる力を培う。</p> <p>II 場面に応じて次を考えて行動する。</p> <p>3、思いやりと優しさのある子ども（心の力）の育成</p> <p>I 困っている友達に気づき、優しく接する力を培う。</p> <p>II みんなで活動する時に場面に応じて自ら手伝いをする。</p> <p>4、感謝の気持ちが持てるような環境整備</p> <p>I 「ありがとう」の文集作りや勤労感謝の日には、働く人に感謝の気持ちを持つようにする。</p>	<p>1、健康で明るく活発な子ども（体の力）の育成「4. 0」</p> <p>I ①かけっこやリレーで体力を向上させる。</p> <p>②3 種目の基本の柔軟体操ができる。</p> <p>③いろいろな遊びやゲーム遊びの中でも十分に体を動かす。</p> <p>II ①学年・個々の目標が達成できる。</p> <p>②積極的に自ら取り組むようになる。</p> <p>2、自ら考えて行動する子ども（学ぶ力）の育成「4. 0」</p> <p>I 挨拶・衣服の着脱・うがい・手洗いなどの時間を考えてできる。</p> <p>II 次の活動で何をするのかを考え行動できる。</p> <p>3、思いやりと優しさのある子ども（心の力）の育成「4. 0」</p> <p>I 体操や学習、生活面で困っている子の力になることができる。</p> <p>II 生活面でも気が付いて進んで手伝いができる。</p> <p>4、感謝の気持ちが持てるような環境整備「4. 0」</p> <p>I 文集作りや働く人に感謝の気持ちを持つ。</p>	<p>1、健康で明るく活発な子ども（体の力）の育成「4. 2」</p> <p>I、ほとんどの子どもが身体を動かすこと、運動をすることが好きで、積極的に遊びを取り入れてリレーや柔軟体操では、ほぼ全員の子どもができるようになった。</p> <p>II、学年目標の活動がほぼ全員出来ることを視野に置き指導している。年によって推移しているが、目標数値を超えることができた。</p> <p>2、自ら考えて行動する子ども（学ぶ力）の育成「4. 2」</p> <p>I、日々の生活の経験から、そのリズムにも慣れて基本的な習慣や動作ができるようになった。</p> <p>II、学年や個人差から、次の行動や動作を自分で考えていくことは、まだ難しいことが多い面がある。</p> <p>3、思いやりと優しさのある子ども（心の力）の育成「4. 1」</p> <p>I 自ら気が付き、自然と優しく接し、人に教えたりしている場面が多く見られるようになった。</p> <p>II 進んで手伝いをする姿が多く見られるようになった。</p> <p>4、感謝の気持ちが持てるような環境整備「4. 4」</p> <p>I 子ども達が成長し、学年があがることで、感謝の気持ちを文にするようになり、感謝の意識をはっきりと持たせることができた。</p>
<p>2 基本的な生活習慣の形成と規範意識を高め、社会のマナーを身に付けます。</p>	<p>1、基本的な生活習慣の形成、ルール順守とマナーの向上</p> <p>2、集団生活に必要な態度と行動を身に付けます。</p>	<p>1、基本的な生活習慣の形成、ルール順守とマナーの向上</p> <p>I 挨拶の徹底、衣服の着脱の習慣、食べる喜びを感じさせ、食育の意識向上。排泄の習慣を身に付けさせる。</p> <p>2、集団生活に必要な態度と行動を身に付けます。</p> <p>I きまりを理解して集団のルールを理解させ、みんなの中の一人の動きを意識する力を培う。</p>	<p>1、基本的な生活習慣の形成、ルール順守とマナーの向上「4. 0」</p> <p>I 生活習慣上大事なことを意識する力を培う。</p> <p>2、集団生活に必要な態度と行動を身に付けます。「4. 0」</p> <p>I きまりの理解と集団の中の自分を考える力を培う。</p>	<p>2、基本的な生活習慣の形成、ルール順守とマナーの向上「4. 2」</p> <p>I 楽しく園生活を送るために、生活習慣の上で大事なことを意識する力を培うことができた。</p> <p>2、集団生活に必要な態度と行動を身に付けます。「4. 3」</p> <p>I クラスの中で、自分勝手な行動が良くないことを理解させ、きまりの理解と集団の中の自分を考える力を培った。</p>

<p>3 安全・安心な教育環境を整え、子どもの積極的で活発な活動を促します。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備</p> <p>2、子どもの積極的な活動力を培う。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備</p> <p>I 保育室の環境整備と子ども達への安全確保（セキュリティ）に努める。 II 絵本・紙芝居を豊富に揃える。 III 安全について関心を高め、積極的に運動や遊びができるようにする。 IV 登降園の安全対策、けがの予防や感染予防に努める。 V 防災・避難訓練を実施する。</p> <p>2、子どもの積極的な活動力を培う。</p> <p>I 教材・遊具・用具を利用して、活発な行動を身に付ける。 II 植物や野菜の栽培や飼育を通して、命の大切さを積極的に気づかせる。 III 園外保育で視野を広げ、人との触れ合いの場を積極的に作る。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備「4. 0」</p> <p>I 登降園での安全対策、病気・けがの予防指導。 II 書籍類を充実させることで、絵本に対する関心度を高める。 III、災害が発生した時に安全に対応できる力を培う。</p> <p>2、子どもの積極的な活動力を培う。「4. 0」</p> <p>I 園内における教材等を利用して、積極的に意識して、活動できる力を培う。 II 園外での機会を通して、視野を広げる力を培う。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備「4. 2」</p> <p>I ケガ・感染予防への意識付け。予防対策と流行に向けての情報発信。 II 教育環境を整えることで、保護者からの信頼度も高き III 災害時の想定される被害を前提にした避難対策の作成をすることで、保護者の安心につながっている。また、「ミマモルメ」等の連絡手段への信頼度が高い。</p> <p>2、子どもの積極的な活動力を培う。「4. 2」</p> <p>I 施設だけでなく、意欲とやる気を引き出す言葉かけ等意識向上。 II 園外行事の際の、意識付けや興味からくる前向きな力を培う。</p>
<p>4 教育課程を通して積極的に取り組む行動や友達と助け合い協力する態度を身に付けます。</p>	<p>1、教育環境の整備、充実を図る。</p> <p>2、教職員の資質向上を図る。</p>	<p>1、教育環境の整備、充実を図る。</p> <p>I 運動や戸外の遊びを楽しみ、意欲を高め挑戦しようとする気持ちや技能を養う。 II 読む・書く・数えることに興味や関心を持ち、考える力・表現する力を身に付ける。 III 友達と一緒に喜んで活動に取り組み、努力することや力を合わせることの大切さを学ぶ。</p> <p>2、教職員の資質向上を図る。</p> <p>I 学年目標の明確化し、実績を常にチェックする。 II 教職員の協力・連携の強化し、教育力・教育内容の充実を図る</p>	<p>1、教育環境の整備、充実を図る。[4. 0]</p> <p>I 学年クラス間の情報共有を強めるとともに、園内研修を充実させる。 II 発表会などの行事を通して、協力することの大切さを指導する。</p> <p>2、教職員の資質向上を図る。[4. 0]</p> <p>I 各学年目標を明確化し、目標達成度をチェックする。 II 教職員の協力、連携を強化し、教育力を高め、教育内容の充実を図る。</p>	<p>1、教育環境の整備と充実を図る。「4. 0」</p> <p>I 教育環境を整えることで、子ども達も楽しく園生活を送るだけでなく、学年クラス間の情報共有を強めるとともに、園内研修を充実させた。 II 1学期からの行事に向けて、また、「運動会」や発表会などを通して、協力することの大切さを指導した点において、保護者からの満足感が高い。</p> <p>2、教職員の資質向上を図る。「4. 1」</p> <p>I 各学年目標を明確化し、共通意識と積極的な保育の取り組み、目標達成度を常にチェックしながら取り組んでいる。 II さまざまな行事にむけて、準備・片付けなど教職員の協力、連携を取りながら取り組んだ。それが、教育力向上と、教育内容の充実を図ることにつながっている。</p>
<p>5 子どもの個性・発達・特性に応じた指導を丁寧に行ないます。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる子どもに育てる。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援を行なう。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる子どもに育てる。</p> <p>I 遊びや活動を通して、人との触れ合い協力を心身の調和の基礎を培う。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援を行なう。</p> <p>I 一人ひとりの子どもの個性・発達・特性に応じた指導を行なう。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる子どもに育てる。「4. 0」</p> <p>I 園に行くことを楽しみにして、喜んで行事にも参加できるようにする。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援を行なう。「4. 0」</p> <p>I 子ども個々の成長、発達、特性の違いを踏まえた指導支援を行なう。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる子どもに育てる。「4. 5」</p> <p>I 園に行くことを楽しみにしているという保護者アンケート評価で高数値なのは、教職員の保育姿勢と、園の体制、保護者の理解などが上手くかみ合っていると判断でき、これからも大事にしていく。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援を行なう。「4. 1」</p> <p>I 成長過程で、ふと気になる点から、集団生活を送る上での大きな問題点まで意識していることや保護者の理解が得られている。</p>

<p>6 保護者・地域・小学校と連携した教育活動を実施します。</p>	<p>1、保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てる。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施する。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図る</p>	<p>1、保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てる。 I 保護者との密な連絡と連携を図り豊かな教育活動に努める。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施する。 I 保護者・地域住民へ情報提供し、教育活動の支援と奨励に努める。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図る。 I 子どもの育ちについて、公立小学校への教育と充実を努める。</p>	<p>1、保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てる。「4. 0」 I 保護者との信頼関係と築く努力をする。 II 保護者からの相談などに対して誠実に対応し連携を図る。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施する。「4. 0」 I 子育て相談・談話会・見学会・園庭開放の普及を実施する。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図る。「4. 0」 I 幼保小合同連絡会に参加し、協力を図る。</p>	<p>1、保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てる。「4. 3」 I 園からの詳細な連絡体制が、保護者との信頼関係と築くことになっており、保護者アンケートでの高数値につながった。 II 信頼を築くため、保護者からの相談などに対して誠実に対応し連携を図った。 III PTA 役員の方と連絡を密にして、園の行事やPTA 主催行事においても支障が出ないようにした。また、行事によっては「おやじの会」の方々にも応援やご協力をいただいた。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施する。「4. 4」 I 保護者参加型の行事でも子育て相談・談話会・見学会・園庭開放などの連絡を丁寧に行ない、多くの出席者数があることは、高い評価ができる。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図る。「4. 0」 I 幼保小合同連絡会に参加し、協力体制を取ろうとしているが、外部小学校においては、情報が入手しにくい面があった。</p>
<p>7 教職員の研修を推進し、幼稚園運営体制の充実を図ります。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図る。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図る。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図る。 I 研修を通して研鑽し、保育力をつける。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図る。 I 学年目標の明確化を実施する。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図る。「4. 0」 I 園内研修や園外の研修会に積極的に参加して、情報を共有して、保育力向上を図る。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図る。「4. 0」 I 学年目標を設定し、全員出来ることを視野に置き指導する。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図る。「4. 0」 I 園内研修の実施や園外の研修会の参加を積極的にするだけでなく、その後の報告・反省会で、情報を共有して、保育力向上を図った。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図る。「4. 2」 I、「預かり保育」の点では担当者 と園側のコミュニケーションが かならずしも十分とは言えない。それが、保護者アンケートの評価 になっている。また、学年目標を 設定、全員出来ることを視野に置 き指導した。</p>